

栗山地域まちづくり懇話会の結果

日時:令和4年7月21日(木) 14時～

場所:栗山庁舎 栗山公民館会議室

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
1	<p>地域高齢者や旅館ホテル関係者から、観光振興及び地域住民の交流の場として、湯西川地区にグラウンドゴルフができる場所が欲しいという要望があります。</p> <p>その候補地としては、湯西川下地区集会所隣にある土地で、現在、「湯西川水の郷」で管理している空き地を利用できるようにしていただきたいです。利用させてもらえるとなれば、旅館組合や老人会が管理してもいいですし、今まで通り水の郷でも良いと思います。</p>	<p>グラウンドゴルフ場につきましては、地域の自治会や老人会なりの全体的な機運の盛り上がりが必要だと思えます。また、地域住民の方々と旅館ホテルどちらが中心になって運営するのかどっちつかずになってしまっても困るため、まずは地域の方々が中心で、その延長線として宿泊客にも使ってもらえる形が良いのではないかと思います。</p> <p>条件整備等を含め、今後、可能性を探らせていただきたいと思います。</p>	<p>空き地につきましては道路沿いであるため、景観的に管理する必要があると思えます。</p> <p>この度の提案につきまして、未利用地の活用にもなりますので、安全面の管理や利用に対する管理など、課題はあるかと思えます。まず、地元自治会と相談させていただきたいと思えます。</p>
2	<p>民生委員に配られている「高齢者世帯名簿」、自治会長に配られている「災害時要支援者名簿」等で既に亡くなっている方や、引っ越しされた方等、正確でないケースが多くみられます。</p> <p>難しいことは重々承知していますが、より正確な情報を基に自治会長や民生委員童委員が活動できるようにしていただきたいです。</p>	<p>今年度お配りした「高齢者世帯名簿」の情報が古いものであったことは承知しています。該当者抽出時に取扱いミスがあり、古い情報になってしまいました。今後十分注意して事務にあたっていきたいと思えます。大変申し訳ございませんでした。</p> <p>「災害時要支援者名簿」(避難行動要支援者)につきましては、数年前までは、民生委員さんにお渡しする名簿が、タイミング的に少し遅くご迷惑をお掛けてしていた時期がありましたが、数年前から少しやり方を変えました。現在は1カ月以内の情報になっているものと認識しております。もし、個別でなにかおかしいところがありましたら後で状況をお知らせいただければ確認したいと思います。</p> <p>いずれにしても、名簿情報の取扱いに関しましては新しいものであること、また正確であることが大事だと思いますので、細心の注意を払って取り扱いたいと思っておりますのでご理解いただきたいと思います。</p>	<p>—</p>

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
3	<p>移送サービスについて、栗山地域では車が1台しか無い状態です。また利用条件が厳しくて利用できない高齢者がいます。</p> <p>市内全体のことなので、なかなか難しいとは思いますが、もう少し中山間地域の高齢者が利用しやすいように検討していただきたいです。</p> <p>例えば、医療機関の帰りに買い物に寄れるような制限の緩和等、利用条件の見直しなどを検討していただきたいです。</p>	<p>移送サービスについては利用条件があります。 ①非課税世帯であること②独居又は高齢者のみの世帯でありこと③移動が不自由であること。この3つを満たせば無料で医療機関や福祉施設の送迎で利用いただけます。</p> <p>車両は市内全部で7台あり、うち1台が栗山地域専用で、その他1台が、どこの地域でも汎用性をもって使える車両となっています。</p> <p>ご指摘のとおり、少し利用しづらい、非常に混みあっているのが現状です。そのようなことから2年前に1台車両台数を増やし、調整しながら運行している状況です。</p> <p>ご要望があったように、例えば、医療機関の帰りに買い物などに利用範囲を緩和すると、益々混みあってしまい利用しづらくなってしまふことが考えられます。</p> <p>山間地域での高齢者の足の確保の問題というのは、極めて難しい状況であり、当然サービスの需要があれば、それに応じた対応も検討していかねばならないと考えているところですが。この移送サービスだけではなく、例えば地域における助け合いの仕組みづくりなどと組み合わせていかねば、なかなか成り立っていかないのではないかと考えています。</p>	-
4	<p>川俣温泉の間欠泉が4年前から出ない状況ですが、日光市ではどう考えていますか。</p>	<p>間欠泉につきましては、現在噴出しない状態であることは把握しています。また間欠泉がこの地区の重要な観光資源としてとらえています。</p> <p>現在数カ所の調査をしており、間欠泉の本体部分の他にも温泉とか蒸気が出ているのが見つかっていますので、今後こういった工法で対応していくか検討しているところです。そのままにしておくということではなく、貴重な観光資源として今後も整備していきたいと考えています。</p>	-

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
5	<p>平家塚の遊歩道が、3年前の台風で土砂が出てしまい、片づけてもらわないとお客さんが入れないということなので対応をお願いします。</p>	<p>平家塚遊歩道につきましては、至急現場の状況を確認して対応します。</p>	<p>現地を確認させていただきました。 この場所は、国有林貸付地ですので、森林管理署と協議し、対応してまいります。</p>
6	<p>栗山中学校が今年度をもって閉校が決まっていますが、施設は建設してからまだ12～13年程度しか経過していません。まだしっかりした施設なので、閉校後の利用について、市がどのような考え方をもっているのかお聞きしたいです。</p> <p>私の周辺の人たちの中では、現在コロナの関係でテレワークが普及しているということで、閉校後の施設を利用して企業誘致等を図りながら利用していければいいのではないかという意見もありました。</p> <p>その他の案としては、校舎、体育館を利用した高校・大学等の合宿所等に利用してはどうかという意見もあったので検討していただければと思います。</p> <p>ただし、校舎なので宿泊施設ではないので、近くの黒部地区に現在利用していない教職員住宅(グリーンハイツ唐滝)というRC建ての立派な施設があり、まだまだ十分に使えると思うので、そこで炊事洗濯等の宿泊も上手く利用すれば可能ではないかと思っておりますので検討をお願いします。</p>	<p>学校施設の有効活用について、まずは民間からの提案をいただきたいと思います。</p> <p>市では公共施設の民間提案制度で施設を公表し、民間の提案を受ける制度によってまずはそれを試したうえで、なかなか手が上がらなかった場合には、こちらからテーマを絞りながら募集をかけて有効活用を図り、民間の活力が入ることをまずは探っていきたいと考えています。その際に、例えば複合的に黒部の職員住宅等を利用しながらその第2段階で市の方からもいろいろ提案しながら民間を募っていきたいと思っております。</p> <p>各施設で自由に民間がどういう活用ができるかアイデアをいただきながら、市の方で採択をして地元にもお知らせしながら、地元にとって何がいいか探っていきたいと考えています。</p>	<p>—</p>

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
7	<p>栗山地域は高齢化が進み、子どもほとんど居ない状況です。病院に行くにしても、買い物に行くにしても足の利便性が無いということで、今後高齢者の免許返納者が増えてくれば、「もう栗山には住んで居られない」ということが考えられます。</p> <p>免許を返納した人には、この地域を路線を運行している市営バスを利用できる、無料パス等の発行が出来ないものか検討していただきたい。</p>	<p>市営バスの無料券を交付できないかのご要望について、市では免許を返納した方の申請に基づき、免許返納特典としてバス・タクシーの共通券11,000円分を1回限りで交付しています。</p> <p>県内市町村の状況としては、鹿沼市、真岡市、小山市が永年無料の利用券を交付しているようです。しかしながら、鹿沼市においては採算性が合わず、収支率が下がっているということで廃止に向けて検討しているという情報を聞いています。その他の市町においても、日光市と同様に3,000円から10,000円の範囲で回数券又は利用券を1回限り又は期限付きで交付をしているようです。</p> <p>栗山地域を運行している市営路線バスの鬼怒川温泉女夫線についてはシーズンによっては観光客が多く乗るバスではありますが、1年を通して利用者を見ても、採算が取れていない状況でありますので、運営自体厳しい状況です。そのようなことから、無料券の発行は困難でありますので現状のかたちで利用していただきたいと思っております。</p>	-
8	<p>移送サービスの利用については、市民税の非課税世帯、独居世帯ということで、当自治会内にも90歳前後の方が数名おり、市民税を納めているがために利用することができない高齢者がいらっしゃるようです。そういった方々も利用できるような方策がないか検討をお願いします。</p>	<p>現在は、非課税世帯の方を対象に無料で利用いただいているところですが、課税世帯まで対象という考え方にした場合には、適正な受益者負担の観点から、ある程度の料金をいただくということを考えていかななくてはならないと思っております。そうなった場合の利用者の増とか、そういった部分と併せてご要望として承らせていただきたいと思っております。</p>	-
9	<p>日光の天然氷が全国的に有名ですが、温暖化により氷の出来が年々遅くなってきているのではないかと思います。寒冷地である栗山で、天然氷の普及について市の支援がいただければいいかなと思っています。</p>	<p>天然氷につきましては、ご指摘のとおり温暖化や担い手不足ということから、徐々に生産者の方が減っている状況にあります。</p> <p>栗山地域の方でやってみたいという方がいらっしゃいましたら、施設整備、氷のつくり方、手法等、いろいろ疑問点もあるかと思っておりますので、そちらは起業という観点から、まずは商工課に起業相談等していただきたいと思っております。また、関心のある方がいらっしゃいましたらご紹介していただきたいと思っております。</p>	-

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
10	<p>旧栗山庁舎について、最終的には取壊すことになると思うが、取壊す間だけでも、備蓄倉庫等に利用すれば県内若しくは全国で必要となった時に支援できるのではないかと思うので検討いただきたい。</p>	<p>旧庁舎の敷地の一部分が土砂災害のレッドゾーンに位置しているところがあるので、災害が起きるまで又は取り壊すまで備蓄倉庫として利用するというのは難しいところがあるものと思っています。たしかに現在までは何も起きていないので、現時点で有る建物をそのまましておくというのはもったいなという考えもあるかと思いますが、逆に言うと何かがあってからでは遅いのかなという観点もありますので、現状としては備蓄倉庫として利用することは難しいと捉えています。</p>	-
11	<p>湯西川地区の人口減で、湯西川小中学校はなくなってしまふのか。閉校になり、鬼怒川まで通うとなると湯西川に住んでる意味がなくなってしまう。何とか湯西川小中学校を存続してもらいたいです。</p>	<p>日光市内の小中学校の統廃合については、平成28年に学校統廃合計画を作成して6つの中学校区を早急に手当てをすべきだということで、指定をして取り組んでいるところです。その中に湯西川は入っていませんので、今すぐにとは考えていませんが、ただ、計画で想定していた状況より児童生徒が減っているため、この計画自体の見直しに着手しているところです。 ただ単純に人数が減ったから学校を無くすということではなく、地理的な条件であるとか、地元の皆さんのご意見等を伺いながら、市としての考え方を示しながら丁寧に進めていきたいと考えています。</p>	-
12	<p>獨協医科大学病院日光医療センターの移転の件ですが、高德の日光医療センターがなくなることは、鬼怒川の人よりも栗山の人の方に影響が出るのではないかと。移転先となる森友地区まで栗山地域から行くとなると、車が無い人にとっては非常に不便です。このことから、高德に必要最小限の診療科を残していただきたいです。</p>	<p>獨協大学病院日光医療センターについては、令和5年1月に移転という予定ですが、これまで市としても現在の場所においても何らかの医療機能を残してもらえよう要望をしているところです。現状では、獨協医大の方もそういった方向で調整しているところですが、まだ公表する段階に至っておりませんので、公表するまで時間をいただきたいと思います。</p>	-

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
13	<p>栗山地区は高齢者が増加し、屋根の雪下ろしに苦慮しています。先頃、国会議員の方とお話しさせて頂いた時に、国の補助制度で雪下ろしにも活用できるというお話をいただきました。そういった補助制度の活用はできませんか。</p>	<p>お話のありました国の補助につきましては存じ上げておりませんので、そこは少し研究させて頂きたいと思います。</p> <p>現状としては市のサービスの中で屋根の雪下ろしには活用できませんが、除雪に関しては、65歳以上の高齢者または重度の身体障がい者であるとか、市民税非課税世帯であるという条件はありますが、暮らしのお手伝い事業というメニューの中で可能です。この事業はシルバー人材センターにお願いしているメニューですが、実際に除雪を行う人材が少なくて十分に需要にお応えできていないと聞いております。</p> <p>国の制度として有効なものがあるかどうかについては早急に探らせていただきたいと思います。</p> <p>豪雪地帯というところの定義や条件が、日光市に当てはまるかといった解釈の問題や、交付税措置の内容などを含め勉強させていただきたいと思います。</p>	<p>国土交通省では、豪雪地帯における除雪作業時の事故の増加を受け、令和3年度に「豪雪地帯安全確保緊急対策交付金事業」を創設しました。</p> <p>この事業は、地域安全克雪方針の策定のほか、方針策定と並行して試行的に取り組む事業として、共助組織の立ち上げ、安全装備・資機材の購入等といった除排雪体制の整備や高齢者世帯における除排雪等に対して支援するものです。</p> <p>支援の期間は、「地域での自立が可能な安全克雪」という目的に鑑み、3年以内とされています。</p> <p>事業の実施にあたっては、地域ぐるみの取組となるため、地域の主体性が重要です。共助組織の立ち上げ等には、住民の理解と協力が必要となりますので、まちづくり協議会で十分に検討していただきたいと思います。</p>
14	<p>現在、湯西川の市営住宅は満室になっていますが、教員住宅にはかなりの空きがあります。しかし、管轄が教育委員会ということで一般の方は利用できないそうです。そこは柔軟に対応することができないものでしょうか。</p>	<p>教員住宅につきましては市の条例のなかで、学校に勤める職員若しくはその家族に貸出すものという位置付けがあります。ただ、教育委員会が特に認めた場合についてはこの限りではないため、地域おこし協力隊の方に使っていただいている例もあります。ただし、これは教員住宅を整備する際に、国等の補助が入っている場合には目的外の使用というものに制限がかかっている場合も考えられます。有償での貸出しについては、さらにハードルが高い部分と考えられます。今後そういった条件につきましては、貸出しの可能性を含めて研究させていただきたいと思います。</p>	<p>湯西川教職員住宅は、国の補助金などを活用し建設されたことから、教職員以外の方がこの住宅を使用する場合、法令の規定により、国等への手続が必要となります。</p> <p>また、湯西川小中学校には現在16名の教職員等が在籍し、交通網の整備により、自宅から通勤できる教職員が増えましたが、それでも一定数の教職員の居住ができるよう備えておく必要があります。</p> <p>そのため、今後の湯西川小中学校の教職員の入居動向などを注視しながら、教職員以外の方の使用の可能性などを含め、引き続き検討してまいります。</p>

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
15	<p>栗山にはダムがいくつもあります。そういった関係の固定資産税をもう少し栗山のほうに回して頂けませんか。現在、栗山が非常に苦しんでいるのは、合併当初の対等という中から人口等の部分で差別ができていないかと感じています。「生産性がない、人口が少ない、だから栗山には予算はまわせない」ではなくて、もう少し考えていただきたいと思います。</p>	<p>各地域の事業と言いますか予算のバランスというのは、非常に難しい問題で、予算編成にあたっては地域のバランスも考慮しながら予算を整理しているところです。</p> <p>例えば、一般の方々については地域のバランスではなくて、すべてが同じようなサービスが受けられるようにしつつも、「地域の特色は何か」というのは非常に難しく、どの地域にはこれを重点的にやっていくかは今のところ明確に分けることができてないと思っているところです。</p> <p>いずれにしても、目的はそれぞれの地域が、より皆さんの理解を得ながら、行政として適切なサービスを提供できるかという点にあるので、様々なご意見をお聞きしながら、予算編成に活かしてまいりたいと思っております。</p> <p>それぞれの地域が合併において、良かった点もあると思います。例えば、子供医療については今市が良かったのでそれに合わせたと、合併後そういったことをすべて一番良いところに合わせつつやってきたことが、財政的に厳しい状況にもなってしまうので、今、今後についてどうあるべきかという部分も予算編成の中で長い視点で整理させていただければと思います。今ここで答えを出すのは非常に難しい問題なので、ご理解いただきたいと思います。</p>	-
16	<p>日光市営バスの湯西川道の駅乗り入れの件で、毎回申し上げているのですが、東武鉄道との兼ね合い等、生活路線の関係で難しいとの回答がありました。再考をお願いします。</p>	<p>市営バスの道の駅経由の件で、以前からご要望頂いていることは重々承知しています。進捗の報告ができず申し訳ありませんでした。現状の利用状況としては、観光客の利用が多いということもあり、観光面において、女夫淵と道の駅を繋ぐ路線について検討しているところです。現在は、国道121号で重複する民間のバス運営会社との協議や、湯西川温泉駅との時間調整を行い、女夫淵と道の駅を結ぶ路線の運行形態の見直しを行っているところです。現時点では関係機関と調整中であり、引き続き検討していきます。</p>	-

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
17	黒部地区の旧教職員住宅の今後はどうなるのか。	<p>黒部の教職員住宅は、平成30年に条例改正で用途廃止をし、その後、市の施設の有効活用を図ろうと、土地を含めて施設の売却を決定しました。今でもホームページ等に載せて売却先をあたっているところですが、今のところ引合いがないため、現状のまま当時の所管課である学校教育課で管理をしている状況にあります。今後については、栗山小中学校の民間提案の活用等と抱き合せたものも視野に入れていきたいと考えていますので、皆様方からもご提案等ございましたら随時お話しして頂ければと思います。</p>	-
18	黒部地区の旧たんぼぼ広場の建物の今後はどうなるのか。	<p>たんぼぼ広場につきましては、利用者の減少によりまして令和2年度から休止してそのままの状態になっています。建物の今後につきましては、地元の意見も聞いたうえで今後検討と考えています。</p>	-
19	旧栗山中学校校庭横の旧教職員住宅の今後はどうなるのでしょうか。	<p>旧栗山中学校校庭横の教職員住宅につきましては、昭和40年から42年ごろに造られた、約100㎡程度の教員住宅でありまして、この建物につきましては合併前の栗山時代に用途廃止をしております。今現在は栗山行政センターで管理をしているという状況になっているところです。今後この建物の利活用につきましては、特に予定はありませんので、取り壊しする方向で考えていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>	-